

一般社団法人やまぐち GIS ひろば 第5回 GIS フォーラム レポート

2019/ 11/ 8

一般社団法人やまぐち GIS ひろば
事務局) 弘中淳一

- (1) 日時：2019/ 11/ 01(金) 13:00～17:00 (企業展示 12:00～17:15)
- (2) 場所：維新百年記念公園 (維新大晃アリーナ 2F 視聴覚室)
(〒753-0815 山口県山口市維新公園4丁目4-1-1)
- (3) 主催：一般社団法人やまぐち GIS ひろば
- (4) 共催：NPO 法人全国 G 空間情報技術研究会
- (5) 後援：山口県、山口市、山口大学、山口県立大学、宇部市、山陽小野田市
- (6) 内容：以下、詳細 (総来場者数：76名 (スタッフ含む))

<会場風景>



(1) 講演会：13:00-17:00

開会挨拶：一般社団法人やまぐち GIS ひろば 理事長
(国立大学法人山口大学副学長) 三浦房紀



【基調講演】 災害対応における宇宙データと G 空間情報利用の挑戦

山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター センター長 長井正彦



【講演】 平成 30 年 7 月豪雨で被災して思う…一市民として、県職員として

山口県 長門農林水産事務所 所長 脇屋和久



【招待講演】 災害時における GIS の活用と課題

～中越地震・中越沖地震時の経験より～

にいがた GIS 協議会 事務局長（株式会社プレス 執行役員）武藤康生



【パネルディスカッション】～ 地域防災における GIS 利活用について～

<司会> 一般社団法人やまぐち GIS ひろば 理事長 (山口大学副学長) 三浦房紀

<パネリスト>

山口大学応用衛星リモートセンシング研究センターセンター長 長井正彦

山口県 長門農林水産事務所 所長 脇屋和久

にいがた GIS 協議会 事務局長 武藤康生

一般社団法人やまぐち GIS ひろば 副理事長 (山口大学教授) 山本晴彦



(3) 企業展示：12:00-17:15

(株)ニュージャパンナレッジ 「GIS とイノシシ捕獲システムの紹介」

インクリメント P(株) 「情報公開用 MapFun 多言語地図 (14言語)」

(有)ソキワーク 「測量機器展示」

宇部興産コンサルタント(株)

「GIS、ドローンを用いた空間情報サービスの紹介、3D 模型展示」

ESRI ジャパン(株) 「地理情報を最大限に活用するプラットフォーム ArcGIS」

(株)リクチコンサルタント 「測量、地質調査と GIS の利用」





【所感】

近年、地球温暖化との関連が疑われる豪雨災害が増えている中、災害対応において GIS がどう活躍したか、今後してゆくか。産官学それぞれの有識者により、大変有益かつ興味深い講演を聞くことができました。

(山大) 長井センター長)「衛星データの活用は、技術の進化により、被災地域等の G 空間情報が、地域にすぐに届く時代が来た」。最近、被災地における衛星データによる浸水エリアの TV 紹介について、よく目にします。今後、さらなる実務レベルへの適用が行われることでしょう。

(長門農林水産事務所の脇屋所長)「豪雨の危険性、ため池の危険性」。被災状況の現地写真による紹介について、大変、臨場感のある内容でした。

(にいがた GIS 協議会の武藤事務局長)「中越地震・中越沖地震における災害対策本部での GIS 活用について」。地元企業のがんばりが地域の復興に貢献したといった話が印象的でした。

パネルディスカッションでは、三浦理事長 (山大副学長) の司会の元、山本副理事長 (山大教授) から、今年の千曲川被災状況の調査報告があり、浸水ハザードマップの正確性や早期避難の重要性に関するお話がありました。ディスカッションでは、GIS の有効性は評価しつつも、GIS 人材育成や教育分野での浸透について、まだまだ課題があり、地域の共通課題と改めて認識しました。総じて、やまぐち GIS ひろばも、防災含め、今後、いろんな場面で活躍の場があり、地域密着で取り組んでゆきたいと感じた次第です。

最後に、ご多忙にもかかわらずご来場くださりました来場者のみなさま、講演者のみなさま、三浦先生、山本先生はじめスタッフ一同に厚くお礼を申し上げます。

以 上